

第1回新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業 工事などに関する説明会 議事要旨

日 時 11月2日（土）午後2時から

会 場 URパークタウン B7号棟 集会所

出席者 武蔵野市環境部クリーンセンター 木村参事、三浦係長、馬場主
査、神谷主任、平松主任

日建設計 高津、小平

荏原環境プラント 今井、佐藤 鹿島建設 小川、古森

参加人数 12名

質問 掘った土はどう処理されるのか。どこへ運ばれていくのか。

回答 土は法的なルールが徹底されている。まず、土の分析を行う。現場からどういった土が出るのかを調べる。土の受取先は色々ある。有害物質が含まれていないか詳細の調査し、規定値を超えていないかを確認した上、埋戻しをするような場所に提供する。鹿島建設だけではなく同業者の現場も含めて、土のやりとりをしている。マニフェストで管理し、土がどこへ行ったかわからなくなるようなことはない。残土発生時に土を欲しがっているところに適宜提供する。また、法律で土壤汚染の調査が必要であり、段階的に調査を進めている。現在まで何も検出されていない。今後も説明会などで土壤汚染の結果もあわせてご説明していく。

質問 現工場や煙突（内筒）を解体した建設廃棄物はどこへ運搬されるのか。

回答 内筒については、粉じんがついたりするので、まず洗浄する。そのあと、リサイクルにまわす。既存工場棟の解体についてはまだ詳細の検討をしていないが、内筒と同様に粉じんが通る部分を洗浄し、プラントを解体して、鉄、ステンレスなどに分類してリサイクルに回し、浄化の際の残さは最終処分場に持ち込むという進め方が一般的である。なお、内筒を壊すときは幕で覆った中を負圧にして作業し、粉じんが外に出ることはない。

質問 市役所の前の通りは通勤、通学路であるので時間帯を考慮してほしい。

回答 できるかぎり配慮する。第四中学校と大野田小学校には来週説明に行くことを予定している。NTT や UR にも説明しながらご協力をいただ

きたいとは考えている。

質問 出入口以外にも誘導員の配置を検討してほしい。

回答 誘導員は適宜つける。ゲートには最低1名常駐させる。車両の出入りが多い時にはガードマンの人数を増やす。工事内容によって、ガードマンの人数も増やしていく。

質問 今の段階で、アスベストがあるかもしれないと予想している建物は、クラブハウスや倉庫だけか。飛散が心配である。アスベストの存在が確認された場合、中間処理場に運ぶとのことであるが、どう運搬されてどう処理されたのかをきちんと追跡調査してほしい。

回答 アスベストについては、クラブハウスとリサイクル工房という小さな倉庫、それから既存の工場棟で検出される可能性がある。クラブハウスとリサイクル工房については、解体以前にきちんとアスベストの有無について調査し、もし存在が確認されれば適切に処理をする。なお、市の施設課で過去に公共施設全般について、アスベストの部分的な簡易調査を行っているが、その調査結果ではクラブハウスにアスベストがないことが確認されている。

質問 臭気、騒音振動のレベルはどの程度になったら工事を停止するのか。

回答 生活環境影響調査で、工事によってどのくらい臭気や騒音・振動が増えるかの予測調査をしている。この結果を下回る形で工事ができる計画としている。停止にあたっては、法的な基準を順守していく。

質問 天候の影響などで、工事が遅れることもあるのではないか。工期が延長となる可能性はあるのか。

回答 悪天候の中での工事は危険となる可能性があるので、安全が確保できない場合は工事の中止もあり得る。天候不良が短期であれば、工期の延長はない。

契約上、工期は平成31年6月までとしているため、31年6月で竣工するのを原則としている。別発注で外構工事なども予定しており、その工事は6月以降となる可能性がある。長期の天候不良、災害などで、工期の延長となれば契約変更の手続きも発生するし、みなさまへのご説明も必要となると認識している。

質問 トラックの大きさはどのくらいか。よく、生コンを積んだ大きなトラックが道幅ギリギリに通過していて危険な状況が市内でも見られる。

地方では工事車両による交通事故も起きている。通学路上は対策が必要ではないか。特に夏休みなどはクラブ活動などで登下校の時間がバラバラになることもある。配慮してほしい。

回答 トラックの大きさは、10 トンダンプ、大型コンクリートミキサー車を予定している。

来週、近隣の小中学校へ説明に行くので今日のご意見も踏まえて確認しておく。学校側の意向もききながらよく調整していきたい。

質問 現場事務所はいつどこにできるのか。

回答 平成 26 年 3 月頃に敷地内、北側に設置する予定。

質問 現場事務所設置後は現場事務所に直接電話がつながるか。

回答 現場事務所設置前の早い段階で、直接電話がつながるようにする予定である。

質問 作業員は何名くらいを想定しているか。作業員が休憩したり食事をしたりする場所は確保されているのか。敷地外に出ないように配慮してほしい。昼休みはどうとるのか。昼休み中は車両の出入りも中断してほしい。

回答 作業員の人数は工事の状況によって変動がある。11 月からの準備工事では、30～50 名、来年 5 月からの地下工事では、50 名前後、再来年は鉄筋、型枠工事などがはじまり 100 名前後、また再来年 7 月以降はプラント工事も始まるのでプラント工事 10 名前後、建物工事 100 名前後、合計 110～150 名程度となる見込み。平成 28 年ごろからは仕上げ工事に入り、更に 50～100 名程度増え、最大で 300 名前後となる予定。仕上げ工事期間が最も作業員の人数が多くなる。解体については、まだ検討していないので不明。平成 29 年以降は建築工事だけとなるので、50 名前後となる予定である。

作業員は、入れ替わりがあるが新人には初めに教育を徹底している。現場周辺に出る場合のマナーについても再確認している。休憩するスペースは場内、基本的には仮囲いの中で確保していく。休憩は 10 時から 10 時 30 分、12 時から 13 時、15 時から 15 時 30 分の 1 日 3 回を予定している。食事は仕出し弁当などを場内で食べることになる。周辺に飲食店も少なく、周辺を出歩くことはあまりないと思う。

質問 毎月の工程表を自治会に届けてほしい。自治会で都度、広報し、意見

はとりまとめて伝えていきたい。

回答 毎月の工程表はお届けする。

質問 作業員の通勤はどうなるのか。この工事では、待機車両は発生しないと思うが、現在、敷地の周辺に待機車両があって迷惑している。

回答 作業員は電車やバスによる通勤を原則とする。やむを得ず車で通勤する場合には、通勤の車両については作業開始時間の8時より前に来ることになり、敷地内に駐車する。

工事車両は周辺に待機させずに、敷地に到着すると同時に仮囲いの中に入れることを考えている。基本的には場内で対応し、待機車両は発生させないよう十分配慮していく。

市役所周辺は市とは関係のない工事の車両が止まっている状況が見られ、市の交通対策課から警察に取り締まりの強化をお願いしている。また、交通対策課では、注意喚起のための看板の設置に向けた準備をしている。連携をとって対応していきたい。

質問 生コンも含め、夜間工事はないか。

回答 コンクリート打設のための車両の出入りは作業時間内で行う。しかしながら、交通渋滞等でコンクリートの打設が遅れた場合、コンクリート打設後の床をならす処理は季節によっては、コンクリートが固まるまでに時間がかかるため、午後5時以降の作業が発生してしまう可能性もある。音は出ないが、明るく照らすことはある。原則、作業時間は午後5時までなので、午後5時までの作業時間で工事が完了するような工程を組んでいく。しかし、最終の建物の内装工事で音の出ないような作業をやむを得ず実施するケースが発生した場合は、予めお知らせする。

質問 午後5時以降に車両が出入りする場合、ガードマンが不在となり危険ではないか。

回答 午後5時以降に車両が出入りする場合にも、必ずガードマンを配置する。なお、作業時間は午前8時から午後5時その前後1時間が準備、片づけの時間としており、その間はガードマンを配置する。